※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	2	3	All Aboard! English Communication Ⅱ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語コミュニケーションⅡでは、以下記載の５領域を総合的に高めることを目的としています。
高等学校での英語学習の総まとめとして、５領域のうちに得意分野を見つけて力を伸ばしていきましょう。
１、２年時のコミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ同様、考査以外の『授業内の言語活動』による評価の比重が非常に大きいです。英語は苦手だから…とあきらめることなく、授業内でチャレンジすることが非常に大切です。間違いや失敗を恐れずに、前向きに英語学習に取り組んでくれることを期待しています。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	(CEFR-J [A2.1]) ○決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要なことがらについて、内容を理解することができる。 ○ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	(CEFR-J [A2.1]) ○50 語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズをともない音読することができる。	(CEFR-J [A2.1]) ○日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	(CEFR-J [A2.1]) ○絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。	(CEFR-J [A2.1]) ○自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ○簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	〈知識〉 教科書理解を含む授業内の言語活動や実際のコミュニケーションに必要な英語句や文構造、または発音等について理解している。 〈技能〉 教科書理解を含む授業内の言語活動や実際のコミュニケーションに必要な技能を身に付けている。	教科書理解を含む授業内の言語活動や、具体的な目的・場面を想定したコミュニケーション活動等において、自身の知識や技能を活用し、情報を整理したり、自分の考えを表現したりしている。	教科書理解を含む授業内の言語活動や、具体的な目的・場面を想定したコミュニケーション活動等において、自身の知識や技能を活用し、情報を整理したり、自分の考えを表現したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Lesson 3 Wild Men	読むこと	a:　it を用いた文〈It is … (for —) to ～〉〈It is … that ～〉の形・意味を理解している。 b: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について読み取った情報を、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしている。 c: 読み取った情報を理解し、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしようとしている。	単語小テスト 内容小テスト 観察
		書くこと	a: 身近な行事に関する表現や語彙等を理解し、簡単な文をかくことができる。 b: 身近な行事についての情報を整理し、他者に伝わりやすいように書くことができる。 c:身近な行事について情報を整理し、他者に伝えようとしている。	レポート課題 観察
		話すこと （やり取り）	a:身近な行事に関する表現や語彙等を理解し、簡単なやり取りをすることができる。 b:身近な行事について情報を整理し、やり取りの中で他者に伝えている。 c: 身近な行事について情報を整理し、やり取りの中で他者に伝えようとしている。	インタビューテスト 観察
	中間考査			
	Lesson 4 Little Hero	読むこと	a: ハチドリについての説明文や物語の語彙や表現、間接疑問文の形と意味を理解している。 b: ハチドリについての説明文や物語に使われる語彙や表現を音読できる。 c: 読み取った情報を要約し、音読して他者に伝えようとしている。	単語小テスト 内容小テスト 観察
		書くこと	a: 間接疑問文の形・意味と、ハチドリについての表現や語彙等を理解し、英文の内容の要約を書くことができる。 b: ハチドリについて読み取った情報を、端的にまとめたり要約して他者に伝わりやすいように書くことができる。 c: ハチドリについて読み取った情報を理解し、端的にまとめたり要約して他者に伝わるように書こうとしている。	レポート課題 観察
		話すこと （発表）	a: 自分の好きな物語の主人公や好きな理由について、学習した語彙や表現を用いて話すことができる。 b: 自分の好きな物語の主人公や好きな理由について情報をまとめ、他者に伝えることができる。 c: 自分の好きな物語の主人公や好きな理由について情報をまとめ、他者に伝えようとしている。	発表 観察
	期末考査			
2学期	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	聞くこと	a: 日本の伝統文化に関する表現や語彙等を理解し、聞き取ることができる。 b: 日本の伝統文化について聞き取った情報を、まとめて整理している。 c: 英文の理解に努め、聞き取った情報をまとめて整理しようとしている。	リスニングクイズ 観察
		読むこと	a: 歌舞伎等の日本の伝統文化に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して英文の内容を読み取ることができる。 b: 読み取った情報を、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしている。 c: 英文の理解に努め、読み取った情報を理解しようとしている。	単語小テスト 内容小テスト 観察
		話すこと （やりとり）	a: 日本の伝統文化を説明するための表現や語彙等を理解し、説明文を作ることができる。 b: 日本の伝統文化を説明するための表現や語彙等を理解し、簡単なやり取りをすることができる。 c: 日本の伝統文化を説明するための表現や語彙等を理解し、簡単なやり取りをしようとしている。	インタビューテスト 観察
	中間考査			

※令和４年度以降入学生用

	Reading 1 *Mujina*	読むこと	a: 英語で書かれた Mujina に出てくる語句や表現を理解している。 b: 英語で書かれた Mujina の内容を理解し、内容についての問いに答えている。 c: 英語で書かれた Mujina の内容を理解し、内容についての問いに答えようとしている。	内容小テスト 観察
		話すこと （発表）	a: 英語で書かれた Mujina に出てくる語句を正しく発音できる。 b: 英語で書かれた Mujina を、聞いている相手に情景や登場人物の心情が伝わるように音読することができる。 c: 英語で書かれた Mujina を、聞いている相手に情景や登場人物の心情が伝わるように音読しようとしている。	プレゼンテーション 観察
		書くこと	a: 英語で書かれた Mujina に出てくる語彙や表現を理解し、書くことができる。 b: 英語で書かれた Mujina の内容をシートや図にまとめて整理できる。 c: 英語で書かれた Mujina の内容をシートや図にまとめて整理しようとしている。	レポート課題 観察
	期末考査			
３学期	Lesson 7 Over the Wall	読むこと	a: 関係副詞 where, when を用いた文の形・意味を理解している。また, 世界中で壁画を描く活動や, 外国の人々と交流する方法に関する表現や語彙等を理解し、英文の内容を読み取ることができる。 b: 読み取った情報を、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしている。 c: 読み取った情報を理解し、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしようとている。	単語小テスト 内容小テスト 観察
		話すこと （発表）	a: 世界中で壁画を描く活動についての表現や語彙等を理解し、この活動について他者に伝えることができる。 b:「世界の人々と交流する方法」について調べ、情報を整理し、提示資料等を活用しながら、英語でプレゼンテーションをすることができる。 c:「世界の人々と交流する方法」について調べ、情報を整理し、提示資料等を活用しながら、英語でプレゼンテーションをしようとしている。	プレゼンテーション 観察
		書くこと	a: 世界の人々との交流に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して複数の英文を書くことができる。 b:「世界の人々と交流する方法」について、自分の考えを英文で書いている。 c:「世界の人々と交流する方法」について、自分の考えを英文で書こうとしている。	レポート課題 観察
	学年末考査			

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度